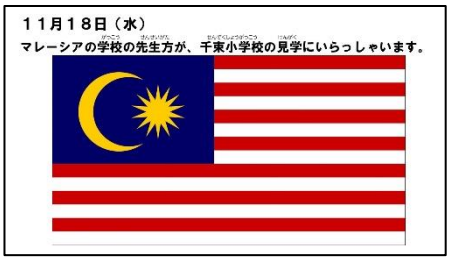
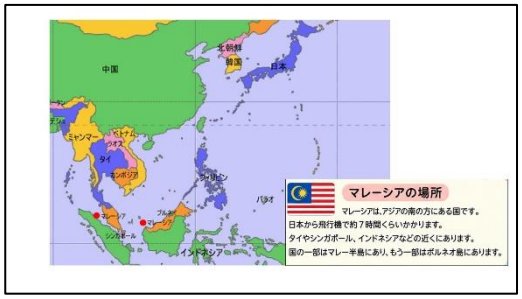
１１月９日　「マレーシアの小学校の先生が千束小学校に来ます」



　来週の水曜日、１１月１８日に、マレーシアの小学校の校長先生たちが、千束小学校にいらっしゃいます。今日は、そのお話をします。

　まず、マレーシアはどこにあるか分かりますか。日本の南の方、東南アジアにあります。マレー半島とボルネオ島の大きく２か所に国が分かれています。



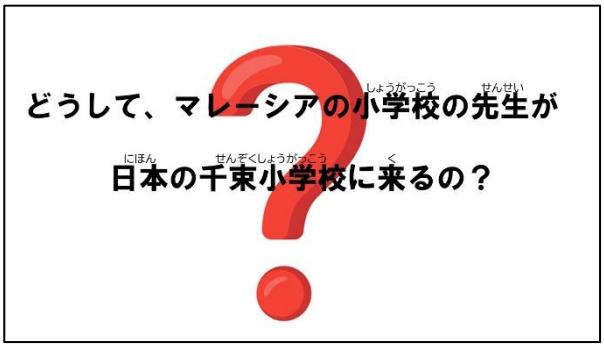
　首都のクアラルンプールは、日本の東京都と同じような大都市である一方、ボルネオ島には豊かな自然が残っています。この写真は、オランウータンでしょうか。また、イスラム教を信じている人が多く、イスラム教の寺院、モスクが多くの場所にあります。また、多くの民族が住んでいる国でもあり、町並みには、様々な文化が見られます。



　特徴のある食べ物もあります。ココナッツミルクで炊いたごはんに、卵やピーナッツ、キュウリを添えて食べる「ナシレマッ」、鶏肉や牛肉などを串にさして焼き、甘いピーナッツソースを付ける「サテー」、薄く延ばして焼いたパンにカレーを付けて食べる「ロティ・チャナイ」、甘いミルクティーを高い所から注いで泡立たせてのも「テ・タリッ」などがあります。サテーは日本の焼き鳥に似ていますが、甘いソースを付けるのは日本と違いますね。



　さて、マレーシアのことを簡単に紹介しましたが、どうして、マレーシアの小学校の先生が、日本の千束小学校に来るのでしょうか。





　もちろん、遊びに来る訳ではありません。マレーシアの小学校の先生方は、日本の学校の給食について学ぶために来ます。では、なぜ千束小学校なのでしょうか。それは、千束小学

校の給食が、栄養のバランスの取れた献立で、安全でおいしいからです。みなさんへのアンケートで「千束小学校の良い所は」という質問をしましたが、一番多かったのが「給食がおいしい」ということでした。千束小学校の給食は、千束小学校の素敵な所でもあるのです。そういう給食の素晴らしさを学びに来るということなのです。



　マレーシアでも、学校でお昼ご飯を食べますが、日本の給食のようなものはなく、写真のように、売店で自分の好きなものを買って食べることができるそうです。好きなものを買えるというのは羨ましいと思うかもしれませんが、バランスの良い食事ということを考えると、好きな物ばかり買うより、日本のような給食が良いと考えることができます。だから、日本に学びに来るのですね。

　１１月１８日には、たくさんの人がいらっしゃいます。いつもみなさんがしているように、元気よくあいさつをしましょう。日本語や英語であいさつをしてもいいですが、自分の国の言葉であいさつしてもらえると嬉しいと思います。そこで、マレー語のあいさつの言葉を紹介します。みなさんで言ってみましょう。

「おはようございます」は、「Selamat pagi スラマッ・パギ」

「さようなら」は「Selamat tinggal スラマッ・ティンガル」

　みなさんの学習の様子や、給食の様子を見るために多くの方がいらっしゃいます。元気にあいさつができるといいですね。



